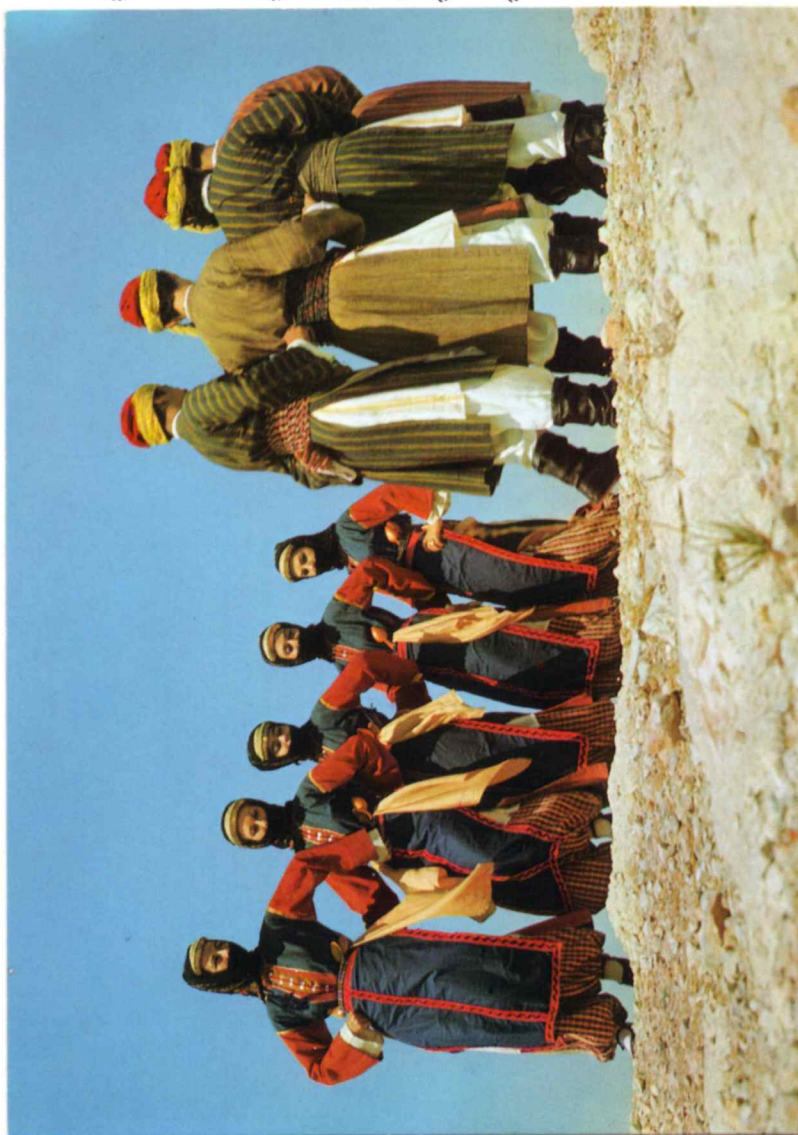


Durchan333

Joe Graziosi in JAPAN '96



Dances from CAPPADOCIA

発行者:Denc (田中 希望) 発行日: 97/01/15 第1版
連絡先: 520-02 大津市仰木の里4-3-2-201

Tel.& Fax. 0775-74-2928 E-mail: denc@jsn.justnet.or.jp **500 円**

Joe Graziosi '96

渋い踊り満載のジョーの講習会でした。踊りの記述に当たっては一部お馴染みの笹倉万里子さんにご協力いただきました。またギリシャ語綴りに関しては、志田好隆氏の取材・研究によるものです。この場を借りて感謝いたします。

●マキノ 96/11/9-10

- 17 page --- 1:Sta Tria
- 10 page --- 2:Arvanitiko
- 1 page --- 3:Ta Matentzidika
 - (1) Eba-evga
 - (2) Ters
 - (3) Tsourougouzou
- 11 page --- 4:Triandafillia
- 3 page --- 5:Etere (曲は、Tis Ofis)
- 12 page --- 6:Atzibilika
- 14 page --- 7:Daulara Chalar
- 20 page --- 8:Aptal Havasi (又は Aptaliko)
- 7 page --- 9:Lotzia
- 6 page --- 10:Mulayev
- 2 page --- 11:Tri(a) Kotsari (曲は Tass)
- 5 page --- 12:Tikfesino (又は Krivoto)
- 16 page --- 13:Troirou
- 24 page --- 14:Lohias
- 13 page --- 15:Patrona
- 18 page --- 16:Kuluriotiko Hasapiko
- 15 page --- 17:Karada
- 22 page --- 18:Guvlaradum
- 23 page --- 19:Sari Kiz
- 8 page --- 20:Kavondoritiko

- Στα Τρια
- Αρβανιτικο
- Ματεντζιδικα
- Εβα-εβγα
- Τερσ
- Τσουρτουγουζου
- Τριανταφυλλια
- Ετερε (Τησ Οφισ)
- Ατζιμπιλικα
- Δαουλαρα Τσαλαρ
- Απταλικο
- Λοτζια
- Μουλαιεβο
- Τρι(α) Κοτσαρι (Τασσ)
- Τικφεσκινο (Κριβοτο)
- Τροιρου
- Λοχιασ
- Πατρωνα
- Κουλουριωτικο Χασαπικο
- Καραδα
- Γουβαρλαντουμ
- Σαρι Κιζ
- Καβονντοριτικο

●岩井 96/11/22-24

- 24 page --- 1:Lohias
- 3 page --- 2:Etere (曲は、Tis Ofis)
- 4 page --- 3:Tryghona
- 17 page --- 4:Sta Tria
- 25 page --- 5:Vlacha
- 20 page --- 6:Aptal Havasi (又は Aptaliko)
- 14 page --- 7:Daulara Chalar
- 9 page --- 8:Yiatros
- 10 page --- 9:Arvanitiko
- 6 page --- 10:Mulayev
- 18 page --- 11:Kuluriotiko Hasapiko
- 7 page --- 12:Lotzia
- 8 page --- 13:Kavondoritiko
- 15 page --- 14:Karada
- 21 page --- 15:T'Ez-Vasili
- 1 page --- 16:Ta Matentzidika
 - (1) Eba-evga
 - (2) Ters
 - (3) Tsourougouzou
- 5 page --- 17:Tikfesino (又は Krivoto)
- 2 page --- 18:Tri(a) Kotsari (曲は Tass)

- Λοχιασ
- Ετερε (Τησ Οφισ)
- Τρυγωνα
- Στα Τρια
- Βλαχα
- Απταλικο
- Δαουλαρα Τσαλαρ
- Γιατροσ
- Αρβανιτικο
- Μουλαιεβο
- Κουλουριωτικο Χασαπικο
- Λοτζια
- Καβονντοριτικο
- Καραδα
- Τ'Εζ-Βασιλη
- Ματεντζιδικα
- Εβα-εβγα
- Τερσ
- Τσουρτουγουζου
- Τικφεσκινο (Κριβοτο)
- Τρι(α) Κοτσαρι (Τασσ)

注) 語尾の「σ」は「ς」と読みかえてください。それが正しいはずですが。

= Matentzidika = マテンツィティカ

Pontos

96.11.9-10 JoeGraziosi マキ, 96.11.22-24 同 岩井,

Music: Romiosini 96 Vol.1

クロストフ-クル

«Ebaevga» JJJJ.

$\overbrace{HRLR,HLRL}^{\text{短め}}$ \overbrace{R}^{\uparrow} $\overbrace{L}^{\downarrow}$,
 (W) $\underbrace{\hspace{2cm}}$ (V) (W)
 小まぐすすむ
 前編
 少し左向ききみ

«Ters» JJJJ Tik のリズム

$\overbrace{R,H,L,H}^{\uparrow}$ $\overbrace{H,R,L,H}^{\leftarrow}$,
 (V) (W) 後 前後 前後

«Tsourou - gouzou» JJ

$\overbrace{RL,R}^{\cdot}$, $\overbrace{LR,L}^{\cdot}$, $\overbrace{RL,R}^{\cdot}$, $\overbrace{LR,L}^{\nearrow}$, $\overbrace{HR,L}^{\searrow}$,
 前後 前後 前後 前後 前後 前後
 (HJ)
 少し右へ

<メモ> ・採鉱夫の...?

= Tria Kotsari = トリア コツアリ

Caucasus Pontians

コ-カサスのポンティアック

96.11.9-10. Joe Graziosi 2ヶ所, 96.11.22-24 同岩井,

Music : Romiosini 96 Vol.1 (Tass)

閉閉 クローズドサークル または オープンサークル

cho. $\overleftrightarrow{R, L, \dots}$ \textcircled{T}

はいめは ぶんづに 考へが、 はやく なる と R.B.L , の よう になる。
ダブリン

dance

(?)
H
R →
L →
R →
H
L
H R L
H R L , (x?)

Kick

<メモ>・構成 cho. と dance を適当な長さづつ交互にくり返す。

- ・ Tri Kotsari, Tria Kotsari, Triplo Kotsari などと称す。



Pontosの踊りとして紹介されている踊りの多くは、Trabzonあたりのものより、もっと東の方の
 ものが多いということです。私としては知らないことだったので意外でした。どうも、
 Pontosは、今のトルコのBafraなどの西Pontos から コーカサス地方までという広い地域
 に住んでいた人たちのようですね。この辺りトルコの踊りとしてみても、色々個性の強い
 踊りの地方が並んでいます。TrabzonやRize そして Artvin ---、また、アルメニアの
 方からみても、現トルコに住んでいた人々のことが、Tom Bozgian氏からも言及されて
 います。Laz Bar は、Lazと呼ばれ 黒海地方に住んでいた人がコーカサス方面に
 移動して云々。ロシアの踊りによくまちがえられる Lezghinka の Lez は Laz と
 同じとか...。Khorumi (グルジア) は、もともと Trabzon 方面から来た人の踊りとか。
 Orta Batumi (アブザン) は Khorumi と同じとか...。実に色々動きがあったの
 ですが、今我々は、トルコの踊り、ギリシアの踊り、アルメニアの踊り、グルジアの踊りなど
 として習って、そして関連付けながらこの地域の全体像を再構築しているのだ
 ず。遠まわりしているようですが、「民族」が違うので仕方ないのでしょうか。
 まあ、こんな想像が楽しいという面もありますか...

ところで、モシゴの Machol Gourzini は、この中で、どういう位置付けになるのか？
----- いやいや、本気で疑問に思っている訳ではありません。

96.12.14. Dené

- 2 -

Pontos

Music : Romiosini 96 Vol.1 (曲名 Tis Ofis)
 ~の ~村名

$\begin{matrix} \nearrow \\ R \end{matrix}, \begin{matrix} \searrow \\ L \end{matrix}, \begin{matrix} \curvearrowright \\ R \\ \text{BB} \end{matrix}, \begin{matrix} \curvearrowleft \\ L \\ \text{BB} \end{matrix}, \begin{matrix} \dot{R} \dot{L} \dot{R} \\ \dot{L} \dot{R} \dot{L} \end{matrix}, \begin{matrix} \uparrow \uparrow \uparrow \\ \uparrow \uparrow \uparrow \\ L R, L \end{matrix},$
 押すおに 1-7
 に Step
 ($\begin{matrix} \uparrow \\ l \\ \text{tdh} \end{matrix}, \begin{matrix} \uparrow \\ L \end{matrix})$

< 27 >

Dené

= Tryghona = トリゴナ

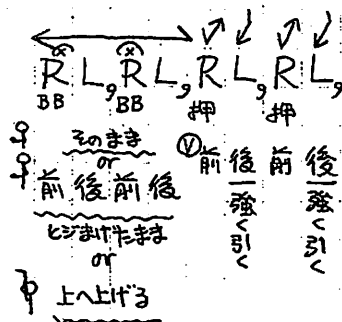
Pontos

96.11.22-24 Joe Graziosi 岩井,

Music: Romiosini 96 Vol.2

せまう⑩ or うてがみ ♪ z Closed サ-クル

3/4



<メモ> 途中でリズムがとりにくくなるので注意

Denic

= Tikfeskino = ティクフエスキノ 別名 Krivoto クリボト

Orma
Karatzova - Makedonia

96.11.9-10. Joe Graziosi マキ), 96.11.22-24 同岩井,

Music: Romiosini 96 Vol.1

←→ L↘L↗L↘L↗
R l, L r, R L, R L, r r,
th th 伸 伸
(th th) たんと

↓ たんだんと かわっていく

←→ L↘L↗L↘L↗
R H, L H, R L, R L, H H,
L H

- <メモ> ・ 子のおどり だが、近くの別の村では 3人で踊ることもある
・ Karatzova は 手元の地図で見つからなかったが、Aridea のそばにそうだが、
・ Pece の紹介の Krivo Žensko と 同じ踊りである。

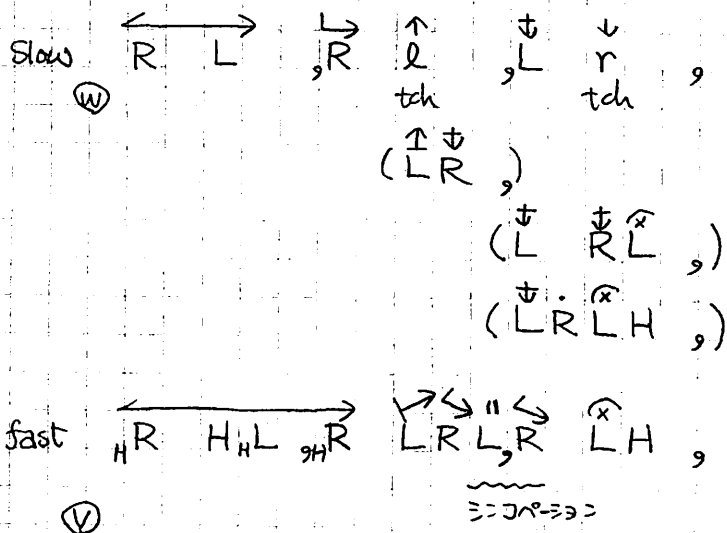
Deni

= Mulayevo = うライエボ

Edessa-Makedonia
-Ellas

96.11.9-10: Joe Graziosi マキ), 96.11.22-24 同岩井,

Music: Romiosini 96 Vol.1 JJJJ



自由に組み合わせ
よいか何回何として
たんと
変えていく

ホールドも速くなって
きたら何となく(V)に
してよい。(W)のまま
でもよい。

蛇行していく

<Memo> Stankina, Slejmanovo, Marina, Bukite など似た踊りがあるが、
これは Mulayevo (Mulajovo) も含め、曲(メロディ)の名前。
各村の踊りが、これらのメロディで踊られるので、

A村の Mulayevo と B村の Mulayevo は 同じ曲、違う踊り方
A村の Mulayevo と A村の Stankina は 違う曲、同じ踊り方
のようなことになる。だから 曲名 だけで そんな 踊り方かはわから
ないので、混乱のないよう...

Denic

= Lotzia = ロジア

南西 Makedonia

96.11.9-10 Joe (Graziosi マキ), 96.11.22-24 同岩井,

Music: Romiosini 96 Vol.1

1.1.1.1 1 というように始まる。あとの方で 1.1.1.1 という Berance のようになる??

Slow ~ Studio 1.1.1.1

④ $\begin{matrix} \rightarrow & \downarrow & \rightarrow & \times & \downarrow & \times \\ R, & L, & R, & L, & R, & L, \end{matrix} \dots$
(LR, L)

fast $\frac{3}{4}$

$\overline{RL, R, LR, L}$
少し
おちおちな step
手はフリーで
右へたへいる ㍉㍉㍉ ...
バラバラに
すすむ
回った ...

<メモ> ・個人的にはリズムが とれず なかなか タイミングよく 入れない。
メロディをきくと どうしても Berance 的に 捉えてしまう ...
どうしよう?

Deni

= Kavondoritiko = カボンドリティコ

Evia

96.11.9-10 Joe Graziosi 77), 96.11.22-24 同岩#,

Music : Romiosini 96 Vol.2

 $\frac{2}{4}$

◎右へ 上下動する Nisiotiko 風 Syntos 強みに...

[illegible]

◎ 左へ

[illegible]

<メモ> ・構成 低い音のところに 左行, その他右行,
踊り始めは 左行きから...

左→右は、高い音になたらすく [Last] を入れて右へ
右→左は、低い音になたら 次の ~~ま~~ ままでやって左へ

- 10人ぐらいまでの少人数で踊るとよい。

左端の人は ㊦ 左行きて まきこむ

リ-ターと決める人は円内で  ①で同じStepがでる。

3~4人めも

3~4人ぬも 同様にてきる。

○1)ターは、足叩きなど、ター二など... う3う3.

Denić

Ipíros - Ellas

Music: Romiosini 96 Vol.1

[illegible]

II I(1~3小節)

◎ 一口ギリシア語入門 ◎

この音を重視してギリシア語→ローマ字 換字 してやると
Yiatros, Yerakina などとなり。
もとのつづりをそのまま 換字 してやると

もちろん どちらのつくり方でも イトロス、イェラキナ と発音するべきであり
ギアトロス、ケラキナ にはなりません。

Denić

= Triandafillia = トリアンダフィリア

Poliyiros Halkidiki
- Macedonia - Ellas

'96.11.9-10 JoeGraziosi P#,

Music: Romiosini 96 Vol.1.

I. $\overset{\curvearrowright}{R}, \overset{\times}{\underset{\curvearrowright}{L}}, \overset{\curvearrowright}{R}, \overset{\circ}{l}, \overset{\cdot}{L}, \overset{\circ}{r},$ (x4)
7拍
1拍ずつ 前拍 → もとす

II. $\overset{\curvearrowright}{R}, \overset{\times}{\underset{\curvearrowright}{L}}, \overset{\times}{\underset{\curvearrowright}{R}}, \overset{\times}{\underset{\curvearrowright}{L}}, \overset{\times}{\underset{\curvearrowright}{R}}, \overset{\times}{\underset{\curvearrowright}{L}}, \overset{\circ}{l}, \overset{\cdot}{L}, \overset{\circ}{r},$ (x2)

~~途中~~ 2-x4 にもなる。

<メモ> メロディに合わせて I→II→I→II→...
回数も合わせましょう。

Deni

= Atzibilika = ㄱㄷㄹㄹㄹㄹㄹㄹ

Sernes-Makedonia

96.11.9-10 Joe Graziosi ㄱㄷㄹ,

Music: Romiosini 96 Vol.2

ㄱㄷㄹㄹ

↔
LRLR, LRLR, LRLH, RLHR,
① ㄱㄷㄹ ㄱㄷㄹ ㄱㄷㄹ ㄱㄷㄹ ㄱㄷㄹ

<ㄱㄷ>

Denic

= Patrona = 10107

Melenikitsi - Serres - Makedonia

96.11.9-10 JoeGraziosi 7#1,

Music: Romiosini '96 Vol.2

1.1)

←→ °. →
RL, RL, RL, HR, Rev 777

⑤ たくさん移動

←→ °. →
RL, HR, HL, HR, LR, HL,

<10>

Denic

= Daulara Chalar = दाउलारा चालार

Kimisi - Serres - Makedonia

96.11.9-10 Joe Graziosi 7キ), 96.11.22-24 同岩#,

Music : Romiosini 96 Vol.2

© Slow

♪♪♪♪ ♪ へ 少し違うが、このようにとるのが理解しやすいと思う。 (slow quick slow)

intro | 小節 2-5 に入る

[illegible]

◎ fast 曲が速くなたら slow を少し流して 代わりに fast part になる。
 ♪♪♪ (slow quick quick)

$\begin{matrix} \rightarrow & \leftrightarrow & \rightarrow & \otimes & \leftarrow & \leftarrow \\ H_R, H_L, H_R, L_R, L_R, L_R, r, & & & & & & \\ \textcircled{w} & \text{~~~~~} & & & & & \text{tch} \end{matrix}$
 ・少し中へ入るようにして
 円周にもどる

<メモ> slowのはじめ2ステップは $\begin{array}{cc} \xleftarrow{\quad} & \xrightarrow{(x)} \\ R & Lr \\ \downarrow & \downarrow_{\text{右}} \end{array} (x2)$ とすることもできる。

Denić

= Karada = カラダ

Vammakofiton-Serres-Mak.

96.11.9-10 JoeGraziosi マキ, 96.11.22-24 同岩井,

Music: Romiosini 96 Vol.2

◎ slow 1.1.1.

○ R, l, l, L, B, B, R, L, , R, l, l, L, B, B, R, H, , L, R, , L, r, ,
① kick2回 ② kick2回 ③ ④ リガ
↑ ↑ ↑ ↑ ↑
小さく ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

(R L) (同左)
↑
(R L R) 特ニ早はこうする (")

◎ fast 1.1.1

slow を速くしていく, 1歩めを R にする ----

◎ fast 1.1.1 合図で かわる

○ R, H, , L, R, L, , R, L, , R, L, R, , L, R, L, , R, H, , L, R, , L, H, ,
① ② 前後 ③

- <メモ>
- ・合図で fast にかわるが、基本的にStepは同じである。
 - ・fast パートは これまでのJoeの踊りでは Samarina, Gaida Spatovo と共通です。どれも Serresのあたりの踊り。私はこの動き 好きです。
 - ・ちなみにこの踊りの後半は「蛇行しない」とマキリでは言っていたと思いますが、「蛇行する」と岩井では踊りました。さて? 私は 蛇行することになります。(好きだから)

Dené

$= \text{Troiru} = \text{troiu}$

Boyaliki - North Thrace

96.11.9-10. Joe Graziosi 2#),

Music: Romiosini 96 Vol. 2

 $\frac{3}{4}$
$$\begin{array}{ccccccc} \overleftarrow{H} \quad \overleftarrow{H} & \overleftarrow{H} & \overleftarrow{R} & \overleftarrow{R} & \overleftarrow{R} & \overleftarrow{R} & \overleftarrow{R} \\ H \quad H & H & R & R & R & R & R \\ \overleftarrow{L} & \overleftarrow{L} & \overleftarrow{L} & \overleftarrow{L} & \overleftarrow{L} & \overleftarrow{L} & \overleftarrow{L} \\ (L) & (L) & (L) & (L) & (L) & (L) & (L) \\ \text{tech} & \text{tech} & \text{tech} & \text{tech} & \text{tech} & \text{tech} & \text{tech} \end{array}$$

⑤ 後 前 後 前 -----
ふりつづける

<メモ> Trité Pati の 系統の踊り

Denić

= StaTria =

29 H13

Sarakatsan -
東Macedonia~Thrace

96.11.9-10 Joe Graziosi 2キ1, 96.11.22-24 同老井,

Music: Romiosini '96 Vol.2 "Epses Iha Kali Kandia"

① $\overset{\curvearrowright}{R}, \overset{\curvearrowleft}{L}, \overset{\curvearrowright}{R}, \overset{\curvearrowright}{l}, \overset{\curvearrowleft}{L}, \overset{\curvearrowright}{R}, \overset{\curvearrowleft}{L}, r,$
 (LRL) $\overset{\curvearrowright}{l}$ $\overset{\curvearrowleft}{L}$ $\overset{\curvearrowright}{R}$ $\overset{\curvearrowleft}{L}$ $\overset{\curvearrowright}{r}$
 117ト 117° 117ト
 ビサササ曲げて高く上げる $\overset{\curvearrowright}{l}$ と同様
 "低ははは低く"
 tch 12 リフト u3n3x...
 tch 12 Hop
 tch t=t
 L R 117ト
 なじ

<メモ>・Sarakatsan は、東マケドニア〜トラキアあたりに住む、羊飼いたち (遊牧民) のことだそう。

・"Despo" はとも Sarakatsan の (遊牧)

・StaTria は、基本的には、 $\overset{\curvearrowright}{R}, \overset{\curvearrowleft}{L}, \overset{\curvearrowright}{R}, \overset{\curvearrowright}{l}, \overset{\curvearrowleft}{L}, r,$ のパターンの Step のことをいう。

Denic

= Kuluriotiko Hasapiko = カルリオリティコハサピコ (速)

Salamina島

96.11.9-10 Joe Graziosi ㄹㄱ), 96.11.22-24 同岩井,

Music: Romiosini 96 Vol.2

2人~5人くらいまでのごく短いライン ①

I. $\overset{\text{L}}{\text{R}}, \overset{\text{L}}{\text{L}}, \overset{\text{L}}{\text{R}}, \overset{\uparrow}{\underset{\text{sw}}{\text{L}}}, \overset{\cdot}{\text{L}}, \overset{\uparrow}{\underset{\text{sw}}{\text{r}}}, (x?) + \overset{\text{L}}{\text{R}}, \overset{\text{L}}{\text{L}}, \overset{\text{L}}{\text{R}}, \overset{\downarrow}{\text{L}},$
 ① ほとんどこの場

II. $\uparrow \perp$, \rightarrow , \downarrow , \nwarrow , \nearrow , \searrow , $(x?)$
 伸, 伸, 伸, 伸, 伸, 伸, 伸
 伸, 伸, 伸, 伸, 伸, 伸, 伸

[illegible]

IV. $\begin{matrix} \uparrow & \times & \circ \\ L & R, & L \end{matrix}, \begin{matrix} \downarrow \\ R \\ \downarrow \\ \ell \end{matrix}, \begin{matrix} \downarrow \\ L \\ \downarrow \\ r \end{matrix}, \begin{matrix} \circ & \times & \downarrow \\ R, & L, & R \ell \end{matrix}, \quad (x?)$

st
やや固く

[illegible]

VI. IV をつなぎに 2 回くらゐ?

VII. $\overset{\uparrow}{L}, \underset{\text{kick}}{\overset{\uparrow}{r}}, \overset{\downarrow}{R}, \overset{\leftarrow}{L}, \vec{R}, \overset{\curvearrowright}{L}, \overset{\curvearrowleft}{R}, \overset{\times}{l},$

↑ ↑ (x) ↑
L, r, r, r
kick L's*
→

$\begin{matrix} \uparrow \\ L \end{matrix}, \begin{matrix} \uparrow \\ r \\ \text{kick} \end{matrix}, \begin{matrix} \nearrow x \\ R \end{matrix}, \begin{matrix} \uparrow \\ l \\ \text{kick} \end{matrix}, \begin{matrix} \nwarrow x \\ L \end{matrix}, \begin{matrix} \uparrow \\ r \\ \text{kick} \end{matrix},$

 $(x?)$

2回くら

VIII. $\overset{\cdot}{L}$ $\overset{\uparrow}{,R}$ $\overset{\cdot}{R}$ $\overset{\cdot}{L}$ $\overset{\cdot}{R}$ $\overset{\uparrow}{,l}$ (x?)
st kick st st st st kick

IX.

$$\begin{array}{ccccccc} \text{J} & , & \text{H} & , & \overset{\circ}{\underset{\cdot}{\text{R}}} & \text{HL}, \overset{\circ}{\underset{\cdot}{\text{R}}}, & \text{H} \\ \text{"} & & \text{for} & & \text{st} & \text{st} & \\ & & & & & \text{st} & \end{array} \quad (x?) + \begin{array}{c} \uparrow \\ \text{L} \\ \text{st} \end{array} \quad \begin{array}{c} \uparrow \\ \text{r} \\ \text{kick} \end{array} \quad \begin{array}{c} \downarrow \\ \text{R} \\ \ell \end{array} \quad \begin{array}{c} \downarrow \\ \text{L} \\ \text{st} \end{array} \quad \begin{array}{c} \downarrow \\ \text{R} \\ \ell \end{array}$$

以下 V からくり返す.

- ＜メモ＞
- ・構成 回数は自由，順番は基本的に崩さない，Ⅶ以後の Figa がかりめにはⅦを何回か入れてもよい。
 - ・Ⅶの 2 つめの ~~~~ 部分は 岩井での講習で書いた。マキノでは次のようにやった。
$$\downarrow \times \downarrow \leftarrow \rightarrow \times \downarrow \times \downarrow$$
$$RL, RL, RL, RL,$$
 - ・以前紹介の Kuluriotiko Palio Hasapiko の速い Version (← Durchan 26) 曲名の由来などは ところを見てください。

~~Denić~~

= T'Ez-Vasili = テズバシリ ?

Farasa- Cappadocia

96.11.22-24 Joe Graziosi 岩井,

Music: Romiosini 96 Vol.2

左右手前へ、左手自分の背 slowのうち、特に前の人と間隔狭く → あとでヒジ伸ばすぐいになつていく
ベルトをもつこともある。

intro 2カウント間いて スムーズに

$\circ \rightarrow R, L, R, l, l, L, r, r$
 伸曲
 翻 up
 外 \wedge 内 \vee 内 \vee 内 \vee
 上体/头/手
 上体/手

(x6) <542-33

1/2"開始

I. 'intro と同じ 少しリズムがカクニ

(x5)

II. $\vec{R}, \vec{L}, \vec{R}, H, J, H,$
 バランス気味 曲外 st, n

(x6)

III. R, L, R, L, --- 16歩
 リ-フ° リ-フ°
 st st
 おらみょうに

IV. R, L, R, L, --- 16歩
ふつうに歩く

以後 III IV III IV --- とくり返す

- ・ Slowaには 力があるまいけませんね。リズムはありません。
- ・ リーダーは棒をもって踊らない人を指導する。
- ・ 聖バジルのことをうたった歌のみ 無伴奏で踊る踊りが原型。
- ・ カップドキアの地底都市(?)の遺跡はギリシア人たちが残したもの

Dené

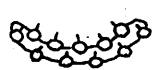
= Guvarladum = ギョバルラドゥム

Bafra-西Pontos
現トルコ


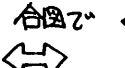

96.11.9-10 Joe Graziosi マキノ,

Music: Romiosini 96 Vol. 2

うでかき (指はかきかない) ♀ 2-つなご-た=ライン

 ^{or 低い} で (W) ホールド ⇔ 後ろのラインの人が
合図で 連手をかきせて フロントバーストのようになる。
(ヒジはややまげた 低い (W))

~ 踊り ~

 [♂] R, L, R, B, -----  ^{合図で} ←  [♂] R, L, R, B, -----

- <メモ> ・ うでをかきせる 隊型のときは ♂♀はとわれないが、背の大きい人が
うしろの方が よいかな ...
・ ラインは 蛇行する。

Denic

= Sari Kiz = サリキズ

Bafra - 西Pontos

96.11.9-10 Joe Graziosi マキノ, ~ 講習したのかな?

Music: Romiosini 96 Vol.2

→ (x) → (x) → (x) → (x) → (x) → (x) → (x) → (x) → (x) → (x)
R L, R L, R L, R L, R L, R L, R L, R L, R L, R L,

⑤ 後 前 後 前 後 ⑥ -----

腰から上は前へ倒す 直立

<メモ>・以前 Bafra Horonu - Omal Karsilidikon として講習された踊りの前半。前の曲は、西Pontosと東Pontosの踊りをくみ合わせた形で紹介されたが、これは、Joeがフォークダンス用として組み合わせたのが、ギリシアのPontos社会で融合されたのかは確認していない。そもそも今現地に住んでいない彼らが、どれだけ地理的な距離を気にしなければならぬか想像しにくい。それよりもPontosの出身者が多いコミュニティでPontos各地の踊りがごちゃまぜになり、似たリズムのものを組み合わせて踊るといのが普通であると説明されても全然不思議ではないと感じます。でも、民俗学的な視点を重要にする人には、Bafra-Omalは奇妙なものだったかもしれませんね。音楽的にも現代っぽいし。そこで(かどうか知らないが)Joeが、Bafraの楽器奏者に頼んで、「本場の」Bafra Horonuを録音してもらったのだ、そうだ。

この演奏はいいなと思いますが、そしてBafra-Omalのテフの途中の「ボヨーン」というテフの伸びのようなのは気に入るませんか。さてどちらが、Pontosの音楽なのでしょう。か。「村の」「本物の」「現地の」を重視する人は、今回の曲の方がいいでしょう。今のPontos社会は、ギリシアのマケドニアに散在しています。そして強い個性をもって生き続けています。学問的に「もと」を知ることは良いことですが、今、生き続けている「踊り」も負けずによいものですよ。ギリシアでPontosの踊りは決して過去のものでも学問上のものでもなく、かなりのエネルギーをもって生きています。

(少ない経験からの推測を多く含みます。)

・曲名はSari Kizで、明らかにトルコ語です。でもギリシアの人がこう呼ぶとき、トルコ語と感えているのか、ギリシア語と感えているのか、外来語として感えているのか?色々考えてもあまり意味がないですし、適当に考えたらよいのですが、「ギリシアの踊り」をトルコ文字でKiz(この点なし)と表現するのも少し変な気がします。また、Kizと書いて「キズ」と読むのも抵抗があります。そこで表記のようになりました。

・一体、Sari Kizはという文字で表わしていたのかな?ことはトルコ語、そしてPontosの人々か、もとの黒海沿岸にいた頃は、トルコはアラビア文字を使っていたのでは? Pontosの人はギリシア文字を使っていたのかな? アラビア文字を今のトルコ文字に変えたルールはギリシア文字には関係ないでしょうし、それをなじみのローマ字に勝手にかえて日本で使っている私ともか「い」が「え」が迷うかもしれない話ですよ。

= Lohias = ロヒアス

Episkepsis - Kerkyna 島
(Korfu)

96.11.9-10 Joe Graziosi マキ, 96.11.22-24 同岩井,

Music: Romiosini 96 Vol.2 (無伴奏)

⑩ closed サクル 間隔やや狭く、早のおどり

$\overleftarrow{\text{R, L, R, L, R}}$ $\overset{\curvearrowright}{\text{L}}$ $\overset{\circ}{\rightarrow} \underset{\text{tch}}{\text{r}}$ $\downarrow \text{R}$ $\overset{\times}{\text{L}}$,

$\overleftarrow{\text{R, L, R, L, R}}$ $\overset{\curvearrowright}{\text{L}}$ $\overset{\circ}{\rightarrow} \underset{\text{tch}}{\text{r}}$ $\downarrow \text{R}$ $\overset{\times}{\text{L}}$, ,

<メモ> ・ 8 と 10 のパターンをくり返す.

・ 「軍曹が死んでしまったことを嘆いて……」という内容とか.

・ ケルキウの音楽は独特ですね.

ギリシアの中では地理的に Ipiros ですが、音楽は海の方のイリア的です.

イリア

Dení

$$= V_{lacha} = 7.511$$

Naxos 島

96.11.22-24 Joe Graziosi 岩井,

Music: Romiosini 96 Vol.2

introtal

I. $\xrightarrow{R, L} R \xrightarrow{\uparrow} \ell \xrightarrow{\downarrow} L \xrightarrow{\uparrow} r$, (x8)
(StaTria) \textcircled{T} sw sw

[illegible]
$$\text{III. } \left(\begin{array}{c} \circ \\ \oplus \end{array} R_{st}, H, L, R_{st}, H, LR, L, RL, RL \right) \times 5\frac{2}{3}$$

<メモ>・構成は 上に書いている回数づつくり返したか、回教を覚えおくと、
メモティで変えていけばよい。

- 以前にも Vlach (Naxos) を紹介したが、基本的に同じ Step、色々な Vlach があるそうだが、この踊り方はこの曲 (メロディ) でしか踊られない。

Dené

